

リーディングDXスクール事業【実践事例】

岩沼市立岩沼北中学校

【取組内容①】 教室と教室の外を接続し、学びの機会を提供する取組

【概要】

生徒にとって多様な学びの場を提供することが学校に求められています。本校では、生徒の要望に応じて教室と登校支援教室・家庭をオンラインで接続し、生徒の学びの保障に役立っています。

【使用するアプリ等】

Google Meet、ウェブ会議ソフト 等

【活用の流れや工夫点、生徒の様子等】

- ・別室登校をした生徒やコロナ等で登校ができない生徒に、担当教師がオンライン配信による学習を希望するかを聞き取ります。
- ・家庭でオンライン配信を行う際は、開始時刻とミーティングIDをGoogle Classroomで伝えます。考査前などは、遅い時間での要望もありますが、可能な限り対応しています。
- ・別室登校をしている生徒からは、「何を今学習しているのかがわかり、自分がしなければいけない課題が明確になるので嬉しい」との感想が寄せられています。
- ・別室登校をしている生徒が、①デジタル教材を利用して自分で学習する。②オンラインで授業を視聴する。③別室担当教師から学習支援を受ける。から自分でその日の学習方法を選択できるようにすることで、個別最適な学びにつながるようにしています。



別室の様子



教師のデジタル教科書を提示

